

## ベルビアンは、基本的に内装用途にお使いください。

- \*ただし、※マークのついた品番(ベルビアンEX)および、※マークのついた品番は外装用途でもお使いいただけます。「太陽光への配慮」「屋外への施工にあたり」をご確認ください。
- \*ベルビアンには様々な仕様の製品があります。使用部位や下地基材の種類などにより、仕上がりがりや性能に問題が生じる場合もあります。特徴をご理解いただいた上で、色柄の選定をされることをお奨め致します。

### 熱への配慮

- ベルビアンは合成樹脂製品ですので、長時間50℃以上、または、-10℃以下になるような場所への施工は避けてください。
- 加熱されたフライパン、ヤカン、アイロンなど高温のものが置かれる場所に使用しないでください。シートの変質を招きます。

### 下地基材の色

- 下地基材の色によっては、仕上がりの表面色が影響を受けることがありますので、試験貼り等を行って確認してください。

### 下地基材の影響

- 特に平滑で光沢の高い柄については、下地基材の影響で仕上がりの外観が悪くなる場合がありますので、試験貼りを行って確認してください。

### 「∞PVC」マーク

- 「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、ベルビアンは裏面には、材質が塩化ビニルであることを示す「∞PVC」マークが薄く印刷されています。裏面から光があたると、色柄によっては表面に「∞PVC」マークが透けて見える場合がありますのでご注意ください。

### 水廻りへの使用

- ベルビアンは水分に対して十分な耐水性を持っていますが、下地基材の変質(錆、膨潤など)により仕上がりの表面状態が悪くなる場合があります。
- 水廻りへの施工に際しては、耐水性のある基材を選択しプライマーを塗布の上、重ね貼り施工をしてください(→重ね貼り参照)。また、シーリング処理などを施すなど、端部から水が入り込まないよう配慮してください。

### 太陽光への配慮

- 屋外(軒下や軒天を含む)に使用する場合、※マークのついた品番から選定してください。
- 屋内でも、窓などの開口部周辺の部位では、太陽光による褪色に対する配慮が必要です。※マークのついた品番から選定してください。照明器具から出る紫外線による褪色にもご注意ください。
- 傾斜面や水平面に使用した場合、日照時間・気候・方角などの使用環境によっても耐候年数は変動しますのでご注意ください。

	外装用途	内装用途
※ EXシリーズ (EA,EF,EK,EM,ES,EW)	◎※1	◎
※ 左記マークのあるベルビアン	○※2	◎
上記以外のベルビアン	-	◎

- ※1 ※マークのついた品番(ベルビアンEX)は、耐候性・耐汚染性に優れた内外装用シートです。垂直面で使用した場合、褪色・変色について約10年の耐候性を有します。(保証値ではありません)
- ※2 ※マークのついた品番は、垂直面で使用した場合、褪色・変色について約3~5年の耐候性を有します。(保証値ではありません)

- 屋外への施工に際しては、「屋外への施工にあたり」をご参照ください。

### VOC削減への取り組み

- ホルムアルデヒド、クロルピリホスを使用していません。トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを原材料として使用していません。

### 施工の前に

- 準備作業がベルビアン施工仕上りの良否に影響を与えます。以下の項目を必ず守るようにしてください。

### 施工前の確認

- 製造ロット番号が紙管(巻き芯)及びダンボールケースの側面に記載されています。施工前にロット番号を控えてください。万一トラブルが発生した場合には、ロット番号をお知らせください。

### 作業環境

- 暗所での作業は、エアや仕上がりの欠点の発見を困難にしますので、充分な明るさを確保してください。
- 埃や塵が仕上がりに表面に突起を生じさせる原因となります。事前に作業場所周辺の床を清掃し、水を撒くなどの防塵対策を行ってください。

### 作業温度

- ベルビアン施工温度範囲は、10℃~35℃です。
- 10℃以下になりますと粘着力が低下し密着不良によるシートの膨れ・浮きが発生することがあります。施工現場の環境温度が10℃以下の場合、環境温度を上げ、なおかつ下地基材を温めてください。また、ドライヤーを併用しシートを温めながら圧着してください。
- 折り曲げて貼る場合、低温時や製品によっては、表情が変化することや白くなる場合がありますので、貼る際にドライヤーを併用しシートを温めながら注意して施工してください。
- 低温時にはカットの際、裂けやすくなりますのでご注意ください。

### 裁断

- 縦横約50mm間隔で方眼が入っていますので、裁断の目安にしてください。
- ベルビアンを裁断したり、巻き直したりする際、表面のキズ防止や静電気による塵や埃の付着防止のため、床や作業台に充分に清掃したシート裁断用下敷きなどを敷いて作業してください。
- ロールからシートを巻き出した際、平面状にする際、離型紙とシートが剥がれてしまうことがありますのでご注意ください。
- 裁断したベルビアンの一時的保管は、離型紙が内側になるように巻き、端部をマスキングテープで仮止めした後、縦置きして保管してください。シートに傷や折れジワがつかないように下積みは避けてください。
- 柄合わせが必要な場合には、柄を見てやや長めに裁断するようにしてください。

### 加工特性表(参考)

- 各品番の加工適性を十分把握し、加工面に合ったシートを使用してください。過剰な引き伸ばしは、色変化、模様ムラの原因となります。

基材 法定不燃下地とは異なり	平面・二次曲面		三次曲面	
	○	△	○	△
品番				
A, BC, C, DA, F, K, NC, PR, S, SA, SW, W, WA, WB	○	○	○	○
MT	○	△	○	○
EA, EF, EK, EM, ES, EW	○	○	○	△
BR, CO, CY, MA	○	○	○	○
CM, FM	○	○	○	○

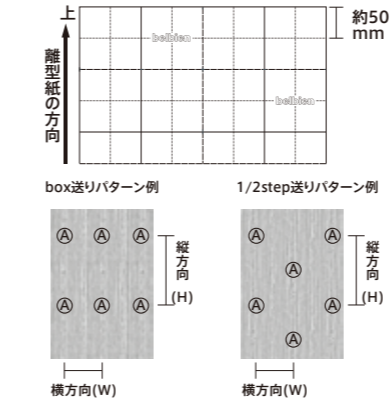
○…良好, △…要注意, ×…不可

### 施工にあたり

#### 柄合わせ(リピート)

- 一般的な壁紙と同様、ベルビアンにもリピートがあります。板目柄や大柄など、柄合わせを考慮する必要があります。各サンプル下部にリピートの参考値を記載しています。
- ※製造上避けられないばらつきがありますので、リピート値は参考値としてお考えください。

#### 離型紙と柄リピートの種類



#### 重ね貼り

- 内装制限にかかる部位において、改装等のため既存の化粧フィルムの上にベルビアンを重ね貼りすると、不燃あるいは準不燃材料としての認定番号の適用対象になりませんので、ご注意ください。
- ベルビアンを重ね貼りする場合は、重ねる部分にベルビアンプライマーZもしくはBP-1000を塗布し、乾燥を確認してから施工してください。その際、プライマーがはみださないようご注意ください。
- 製品仕様やエンボスによっては、重ね貼りが難しいものがあります。重ねる部分の表面をサンディングしてからプライマーを塗布してください。(特にMT, EX品番とCM-121, CM-124など)

### 施工後の注意とメンテナンス

#### 施工のあとに

- シート裏面の粘着剤は、時間とともに下地との密着性が上がるように設計されています。貼り替えなどによりシートをはがす際、下地の種類によっては基材を傷めるおそれがありますので注意してください。

#### メンテナンス

- 日常的な汚れは薄めた中性洗剤を柔らかい布やスポンジ等につけて清掃してください。清掃後、残った洗剤は水拭きし、除去してください。
- キズの原因となりますので、クレンザーなど研磨剤が含まれている洗剤は使用しないでください。
- シート表面の劣化の原因となりますので、シンナー、トルエン等の溶剤は使用しないでください。ただし、耐溶性に優れているベルビアンEXの落ちにくい汚れを除去するには、シンナー等の溶剤を使用してもかまいません。
- 漂白成分の含まれる洗剤で清掃すると表情が変化することがありますので、ご注意ください。
- 汚れが落ちにくい場合は、メラミンスポンジなどで軽く拭き、やわらかい布で水拭きと乾拭きを行ってください。強くこすりすぎると、表情が変化することがありますのでご注意ください。

#### 貼り作業

- 完全な接着性能を発揮させるために、圧着は充分に行ってください。施工時に外観上接着しているように見えても、微細なエアがシートと基材の間に残っている場合は、環境温度が上昇するとエアが膨張してシートの表面に膨れが発生することがあります。
- 折り曲げ加工をする際、強い力がかかると白くなる場合がありますので、ドライヤーを併用しシートを温めながら作業するか、施工後、温めてください。
- 施工時は、ベルビアンスキージーを使用してください。また場合によっては、柔らかい布を巻き付けて使用してください。表面のキズ防止になります。特に鏡面タイプは水でぬらした柔らかい布を巻きつけたスキージーで施工してください。
- ベルビアン表面に、粘着テープや養生テープなどを長時間貼ったままの状態にしておくと、べた付いてきれいに剥がせなくなることがありますので、ご注意ください。
- 同じ柄でもロットにより色調、ツヤ等若干の差異が生ずる場合もあります。製造ロットの違う同柄を貼り合わせるときには特にご注意ください。また光源や環境、見る角度によってジョイント部分の表情・質感の左右差が強調されることがあります。トラブルを未然に防ぐ上でも、透かし目地等の目地処理で納めることをおすすめします。
- 単色であってもシートには方向性があります。流れ方向を合わせないと、突き付けた場合色が違って見えますので、離型紙のロゴマークが正しく読める方向を上にして合わせてください。
- ベルビアンを貼付した後の作業でビス留め等を行う際には、応力でシートがよじれて皺にならないよう注意して作業を行ってください。

#### ハイブリッドタイプ粘着剤

- ベルビアンは多くについては、ハイブリッドタイプの粘着剤を採用しています。施工時のエア抜きはフラットタイプの粘着剤に比べて容易ですが、圧着は十分に行ってください。
- EX, CM, FM品番等、一部ハイブリッドタイプ粘着剤でない仕様(フラットタイプ)もございます。フラットタイプの粘着剤はハイブリッドタイプのエア抜き機能がないため、施工時のエア残留にご注意いただき、特に十分な圧着を行ってください。

#### 屋外への施工にあたり

- 傾斜面や水平面などでご使用された場合、耐候性など本来の性能が発揮されないことがあります。
- ※マークのついた品番(ベルビアンEX)や※マークのついた品番を屋外で使用する場合、設計段階からの打ち合わせが重要です。
- 事前に工場パネル等に施工することを推奨しますが、現場施工の場合には作業環境温度は10℃~35℃、養生に配慮し、ドライヤー等を使用して入念に施工してください。
- 雨天や強風など悪天候下での施工は避けてください。
- カッター等で表面を傷つけることは避けてください。シートの外観仕上がりに影響を与えたり、性能を低下させる恐れがあります。
- ジョイントの突き付け貼りは避けてください。目すき部分から雨水が浸透し、接着面の浮きやハガレにつながります。
- ベルビアンは水分に対して十分な耐水性を持っていますが、下地基材の変質(錆、膨潤など)により仕上がりの表面状態が悪くなる場合があります。屋外への施工に際しては、耐水性のある基材を選択しプライマーを塗布の上、重ね貼り施工をしてください。
- 重ね貼りの際は、重ねる部分の表面をサンディングしてからプライマーを塗布してください。また、シーリング処理などを施すなど、端部から水が入り込まないよう配慮してください。
- シーリング剤の使用にあたっては各シーリング剤の表示ラベル、取扱説明書に従ってください。
- 下地調整については、当冊子P4をご確認ください。



**注意** 有機溶剤が含まれているプライマーやシーラーを使用する場合には、充分な換気を行うとともに、引火を防ぐため、火気類を近づけないようにしてください。

**注意** 離型紙、端材などを床に放置しないでください。歩行中に踏みつけ足を滑らせて転倒する恐れがあります。正反(50m巻き)は20kg以上の重量物となりますので、安全のため荷扱いには充分注意してください。

#### 廃棄上の注意

**注意** 端材などを廃棄する場合に焼却しますと、塩化水素ガス等の有害なガスを発生します。特にベルビアンEX(EA,EF,EK,EM,ES,EW)はフッ化水素ガスを発生し危険です。法令「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い、許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託してください。